

「南京戦の真実を追求する会」の設立趣旨

当会の目的は、①南京戦の真実を追求して史実を世に広め、②無実の罪を着せられて非命に斃れた松井石根大将を顕彰すること、にあります。

宣伝戦

第一次世界大戦が起こるとヨーロッパ諸国は宣伝に力を入れ、敵の残虐さを宣伝しました。支那事変が起こると、中華民国も宣伝に力を入れました。中央宣伝部の副部長と対外宣伝処長が指揮を執り、そこにイギリスの新聞記者やアメリカの宣教師が協力して、南京で市民殺戮が行われたというストーリーが作られました。

南京事件

中華民国は第三国に向け南京事件を宣伝しました。ですから日本人が南京事件を知ったのは敗戦後です。松井石根大将は昭和二十年十二月七日のラジオ放送を聞いて初めて南京事件を知りました。

東京裁判

東京裁判でも宣伝は続きました。アメリカの宣教師は虚偽を証言しました。中華民国は架空の埋葬記録を作成して提出しました。このため、起訴状では数万人の殺害でしたが、二十万人に膨みました。

四十年後に再び

昭和二十四年、中国共産党は中華民国を倒し中華人民共和国を建国します。中華人民共和国は南京事件が中華民国の宣伝であることを知っていましたから、それを口にすることはありませんでした。しかし南京攻略から四十年が経ったことから、昭和五十年代後半に南京事件を言い出しました。

濡れ衣

東京裁判で絞首刑となった松井石根大将は南京事件をきっぱりと否定しており、その濡れ衣は晴らさなければなりません。また、中華人民共和国は南京事件を日本の歴史教科書に記述させ世界にも広めており、これらはただちに払拭しなければなりません。

「南京戦の真実を追求する会」の発足

以上の事実経過を明らかにし、松井大将以下の英霊に掛けられた濡れ衣を晴らすことは、われわれ世代に課せられた責務ではないでしょうか。そのために私たちはこの会を発足させました。この趣旨に賛同される方は、われわれと一緒に立ち上がりましょう。

「南京の真実を追求する会」入会方法

南京戦の真実を追求し、松井石根大将を顕彰し、興亜観音を守ることを目的としています。この趣旨に賛同するなら誰でも入会できます。年会費は三千円です。入会は、次に掲げる方法により行うことができます。

- ①問合せメールによる登録：メールで申し込んで下さい。「会」から入会の申し込み書式を送りますので、必要事項を記入のうえメールで返送して下さい。
- ②FAX による登録：HP から所定の申し込み書式をダウンロードし、必要事項を記入のうえ FAX 送信して下さい。記入済みの書式はEメールで問合せ先まで添付ファイルでメール送信して戴いても構いません。
- ③郵便局「払込取扱票」による登録と入会：「払込取扱票」に必要事項を記入し、年会費三千円と共に申し込んで下さい。

問合せ／申込み先

Eメール howitzer@waltz.ocn.ne.jp 担当：萩野谷（はぎのや）

HP <http://www.howitzzer.jp/history/index.html>

年会費振込先

郵便局 口座番号 00140-2-363195

加入者名 南京事件の真実を追求する会

南京戦の真実を追求する会・入会申込書	
(フリカナ)	
お名前	
住所	〒 電話番号: () FAX: () Email:
会報／案内の受取	<input type="checkbox"/> Emailにて可 <input type="checkbox"/> 郵送のみ可